

1940年代前後に採集された横浜周辺の甲虫類

苅部 治紀・高桑 正敏

Haruki Karube and Masatoshi Takakuwa:
Beetles Collected Around 1940's from Yokohama and Adjacent Area

はじめに

神奈川県の中でも横浜は日本開国時からの外国との玄関口であったこともあり、日本の昆虫学の黎明期に国外から訪れた昆虫研究者が、必ずと言ってよいほど立ち寄る場所であった。このためチョウやトンボをはじめ多くの分類群で、そのタイプ・ロカリティー(基準産地)がYokohamaとなっているものがある。環境が激変した現在ではその存在が信じられないような種も多く含まれており、一地域の昆虫相を知るうえでも貴重な記録となっている。

一方、日本人による戦前の横浜周辺の昆虫についての記録も散見されるが、当時の慣習から詳しい地名のデータが残されていることは少なく、さらに、第二次世界大戦の影響からその証拠となる標本が残されていることは稀である。このような状況から、過去の昆虫相の復元作業はなかなか困難なもので、文献記録があってもそれが正確なものなのかどうか判断に迷う事も少なくない。

今回、過去の姿を考えるうえで貴重な記録となるであろう、戦前から戦後すぐの時期の横浜を中心とした県内産甲虫を含む標本を寄贈頂いた。そこで、これらの標本のうち現在横浜から姿を消してしまった種を中心に、一部横浜以外の県内産の注目すべき種を加えて一資料として紹介する。

これらの標本は、北海道札幌市にある古書店である南陽堂書店に書籍と一緒に引き取られたものであるが、残念ながらラベル自体付いていない標本も多く、ラベルが付いている場合も、採集地と採集日の他は記載が無いものであった。採集者や細かい採集地の手がかりとなる標本の所有者がどなただったのかを調査して頂いたが、南陽堂書店に書籍・標本を持ち込まれたのは故人のご兄弟の方で、現在は転居先も不明で連絡もとれない状況とのことであった。なお、標本の所有者でなおかつ採

集者であったのは大島さんという名字の方であることは判明した。採集地としてはYokohama, Mitsuzawa, Tsurumi (現神奈川県横浜市) の他 Shimajima (現長野県安曇村), Osaka (現大阪府大阪市), Kifune (現京都府京都市), Sapporo (現北海道札幌市) などがあり、1936年ころから熱心に各地で採集されていた様子が伺える。

なお、これらの標本類は当時の慣習どおり採集地のデータとしてはやはりYokohamaなどであるだけで、一部を除いて細かい地名については残念ながら不明である。また、今回の標本類は甲虫類でもコガネムシ類とカミキリ類がほとんどで、ほかの甲虫はほとんど含まれていなかった。

発表にあたり貴重な資料をご寄贈頂いた南陽堂書店の高木秀了氏、高木氏と当館の仲介の労をとられた北海道環境科学センターの堀繁久氏に感謝する。なお、以下のデータの採集者名は全て大島である。

クワガタムシ科 Lucanidae

オオクワガタ

Dorcus curvidens binodulus Waterhouse

2♂, Yokohama, 10. VII. 1948; 1♂, Yokohama, 12. VII. 1948; 1♂, Yokohama, 15. VII. 1949.

これまで県内からの正式な記録はごくわずかだったが、最近になって平塚市など数ヶ所から産地が報告された(志村, 1988; 木附, 1991; 藤田, 1995; 上田, 1996; 黒佐・大井, 1997)。横浜では豊顕寺(岩瀬, 1937)の記録が残されているだけであった。今回の標本はいずれもかなり大型の個体で、70mmを超えるものも含まれている。食樹などの生息条件が良好であった証しであろう。

コガネムシ科 Scarabaeidae

アカマダラセンチコガネ

Ochodaeus maculatus maculatus Waterhouse

1ex, Yokohama, 13. VI. 1949; 1ex, Yokohama, 15. VII. 1949.

本種は、おもに夕方に湿り気の多い谷間の地上スレスレをハエのように敏捷に飛ぶことが近年判明したが、それまでは全国的にも偶発的採集例しかなかった種である。県内からの記録はわずか数例にとどまっているが（神奈川県レッドデータ生物調査団, 1995）、逗子市の採集例ではその採集状況も報告されている（石渡, 1995）。横浜市からの記録はなかったものと考えられる。

ムネアカセンチコガネ

Bolbocerosoma nigroplagiatum (Waterhouse)

1 ♀, Yokohama, 8. VIII. 1949; 2 ♂ 1 ♀, Yokohama, 20. IX. 1948; 1 ♂, Yokohama, 18. VIII. 1949; 1 ♂, 仙石原, 12. VIII. 1949.

草地環境に生息する種で、灯火に飛来したものが採集される。減少してはいるが横浜市でも近年の記録がある。今回の標本で注目されるのは、西日本に多い前胸部に黒紋の出るタイプが含まれていることで、1949年8月8日採集の横浜産のメスがこれにあたる。このような黒紋型の記録は、近県では静岡県裾野市（黒沢, 1979）がある。

シラホシハナムグリ

Protaetia brevitarsis (Lewis)

1 ♂, Yokohama, 28. VIII. 1949; 1 ♀, Yokohama, 20. VIII. 1950; 1 ♀, Yokohama, 25. VIII. 1957.

本種は県内からは、わずかに桃井(1956)による本牧、西川(1954)による日吉、大場他(1981)による横須賀の1958年の記録が知られているだけであった。なお、この属の種は外見だけでは同定が難しく、実際同定ミスも多いので、念のため♂交尾器での確認を行ってある。

今回の記録からもかつては平野部に広く分布していたものと考えられるが、県内での最後の記録からすでに40年ほど経過しており、絶滅してしまった可能性が高いものと思われる。

コカブトムシ

Eophileurus chinensis (Faldermann)

1ex, Yokohama, 30. VI. 1935.

県内各所から記録はあるが、少ない種である。

ヒゲコガネ

Polyphylla laticollis Lewis

1 ♂, Kamakura, 20. VIII. 1935.

海岸や河川敷で灯火に飛来したものが得られることが多い。かつては県内各所に産したが、最近では相模川などの県央部の河川からしか記録がない。鎌倉では手広(大場他, 1981)の記録がある。

カミキリムシ科 Cerambycidae

モモグロハナカミキリ

Toxotinus reini (Heyden)

1 ♀, Yokohama, 22.V.1949

横浜市からは初めての記録と思われる。県内低地部での記録は非常に少なく、これまでに相模川以東では川崎市多摩区（丸山, 1961）、鎌倉市（森, 1948）、三浦半島（草間, 1954）、藤沢市（藤沢一中昆虫部, 1952）がある。しかし、いずれも1960年までのものであり、現在は相模川以東では絶滅してしまっただと考えられている（高桑, 1995）。

フタコブルリハナカミキリ

Stenocorus coeruleipennis (Bates)

1 ♂, Mitsuzawa, 23.V.1934

他にラベルは付けられていないが、横浜産の典型的な特徴（前胸背は周囲が黄色、鞘翅は緑青色、脚のけい節とふ節は全体が黄色）を示している標本が2 ♂ 1 ♀ほどある。

全国的にはブナ帯を中心とした植生帯に生息するが、例外的に多摩丘陵から三浦半島にかけての丘陵には広く分布する。横浜に本種が生息することは古くから知られている（小島, 1937）が、ラベルに三ツ沢（神奈川区）という細かな地名が記されていたので、ここに記録しておいた。なお、小島（1937）の記録は、すべての種について具体的な採集地が記されていないが、岩瀬（1988）は中区本牧一帯であろうと推察している。

アオスジカミキリ

Xystrocera globosa (Olivier)

1 ♂, Yokohama, 17.VI.1949

神奈川県ではこれまで横浜市、三浦半島方面、西湘地域、それに津久井郡で少数の記録が残されているにすぎない。横浜市では小島（1937）による1935年の採集記録が唯一のものであり、今回の記録はそれに次ぐものだが、残念なことにこの標本のラベルにも‘Yokohama’としか記されていない。

フタオビミドリトラカミキリ

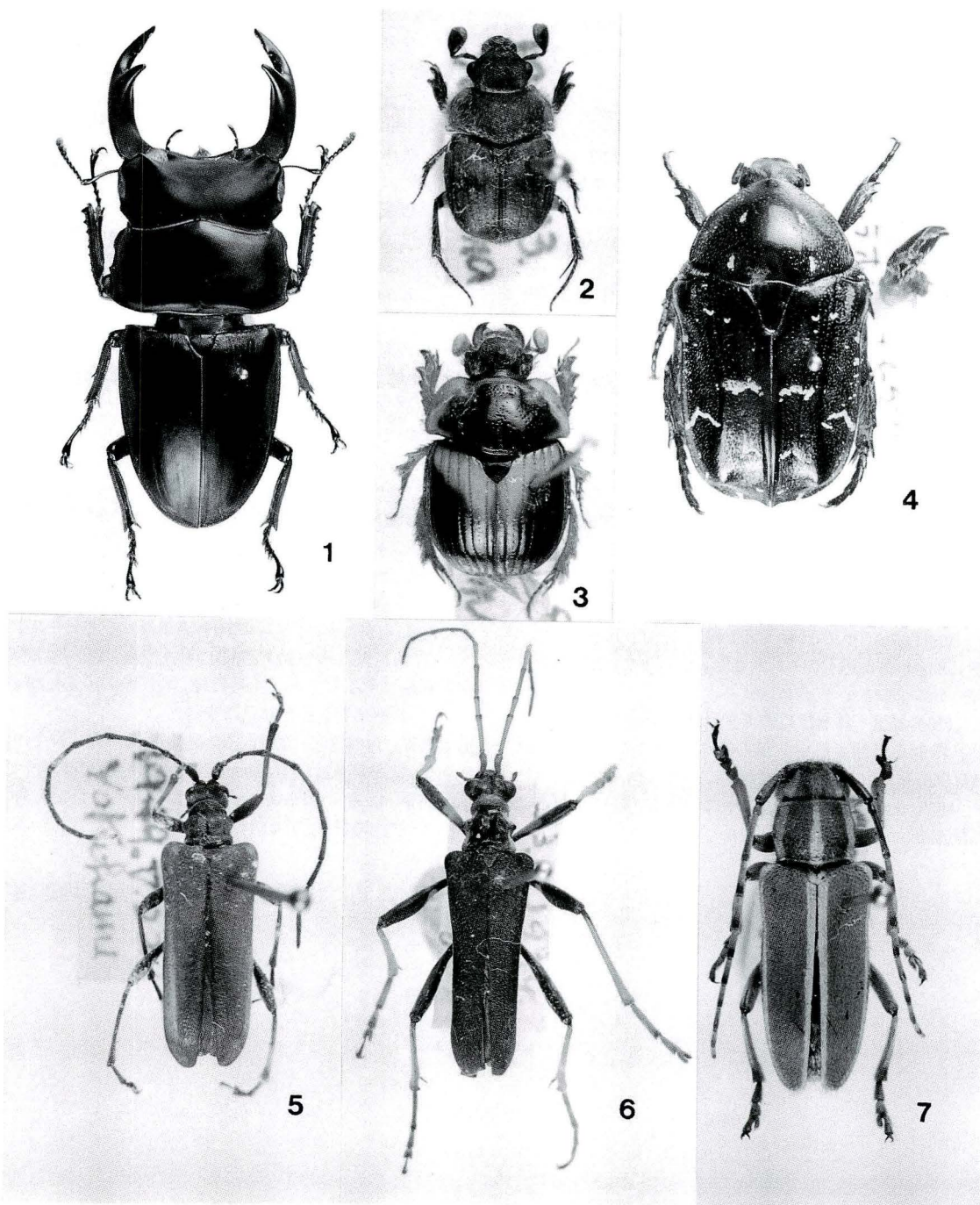
Chlorophorus muscosus (Bates)

1 ♀, Yokohama, 20.VII.1949

沿岸部に多い種で、相模川以東では横浜市の他、江ノ島（露木ほか, 1981）、三浦半島（草間, 1954；露木ほか, 1981 など）で記録されている。横浜では古く小島（1937）による1935、1936年の採集例があるにすぎなかったが、最近も横浜市中区本牧で採集されている（小谷, 1989）。

ホソトラカミキリ

Rhaphuma xenisca (Bates)



1. オオクワガタ; 2. アカマダラセンチコガネ; 3. ムネアカセンチコガネ (前胸黒紋タイプ); 4. シラホシハナムグリ; 5. モモグロハナカミキリ; 6. フタコブルリハナカミキリ; 7. アサカミキリ

1 ♀, Yokohama, 15.VII.1949; 1 ♂, Yokohama, 10.VI.1951

全国的にはブナ帯を中心とした植生帯に生息するが、川崎市麻生区黒川 (山崎私信, 1986), 多摩区岡上 (露木ほか, 1981), 横浜市緑区大場町 (大木, 1991), 港北区日吉 (西川, 1954; 露木, 1955; 益本, 1958; 小比賀, 1997), 鎌倉市 (森, 1948), 三浦半島 (草間, 1954) など、県内では少ないながらシイ・カシ帯でも記録されている。かつては相模川以東に広く分布していたことがうかがえるが、

近年の採集例はごく少ない。

アサカミキリ

Thyestilla gebleri (Faldermann)

1 ♂ 1 ♀, Yokohama, 26.VI.1949

かつては麻の害虫とされていたほど普遍的に分布していたようだが、最近では全国的に減少が著しく、関東地方周辺での確実な生息地はごく少数が知られるにすぎない。相模川以東の神奈川県では、大和市 (露木ほか, 1981), 鎌倉市と藤沢市 (草間, 1955 など), 横浜 (小島, 1937) の記録があるだけ

である。これらのうちもっとも最近の採集例は、1961年藤沢市におけるもの（井本，1968）である。

引用文献

- 藤沢一中生物部，1952. 藤沢産甲虫目録，*Insecta*, pp27-37.
- 藤田裕，1995. 秦野市におけるオオクワガタの採集例. 神奈川虫報，(109): 31-32.
- 井本憲邦，1968. アサカミキリ. *Insect Magazine, Tokyo*, (72): 67.
- 石渡裕之，1995. 三浦半島の昆虫-わが青春の虫たち(II)-，かまくらちょう，(35): 12-20.
- 岩瀬和夫，1937. ノコギリクハガタに於ける大腮の一異常型に就いて(横浜付近産鍬形虫科目録). 昆虫界，5(44): 697-700.
- 岩瀬和夫，1988. 50年前の横浜にどんなカミキリムシが生息していたかー小島圭三博士の業績からー. かまくらちょう，(17): 12-14.
- 神奈川県レッドデータ生物調査団編，1995. 甲虫類. 神奈川県レッドデータ生物調査報告書，212-254pp. 神奈川県立生命の星・地球博物館.
- 木附嘉理，1991. 神奈川県下におけるオオクワガタの記録. 月刊むし，(244): 33.
- 小島圭三，1937. 横濱産天牛目録（第1報）. 昆虫，11: 401-403.
- 小谷靖彦，1989. 横浜市中区でフタオビミドリトラカミキリを採集. かまくらちょう，(21): 20.
- 草間慶一，1950. 逗子・鎌倉付近の天牛目録. 4pp. 個人出版.
- 草間慶一，1954. 三浦半島中北部の天牛について. *Insects Magazine, Tokyo*, (31): 5-14.
- 草間慶一，1955. 三浦半島中北部の天牛について（続）. *Insects Magazine, Tokyo*, (32): 12-24.

- 黒佐和義・大井洋方，1997. 東京都と神奈川県に生息するオオクワガタ. 月刊むし，(316): 69-70.
- 黒沢良彦，1979. 富士山麓のムネアカセンチコガネ. 甲虫ニュース，(48): 5.
- 丸山清，1961. 川崎市北部の甲虫. はんみょう，(3): 31-69. 多摩高校生物部.
- 益本仁雄，1958. 日吉産鞘翅目目録. ユーグレナ，(8): 7-39. 慶應義塾高等学校生物学研究会.
- 桃井重之，1956. 横浜市本牧岬の生物目録. pp.20. 個人出版.
- 森可基，1948. 鎌倉産天牛目録. *The Biological world, Kamakura*, 2(1):1-7.
- 西川協一，1954. 日吉産甲虫類目録. ユーグレナ，(4): 18-42. 慶應義塾高等学校生物学研究会.
- 小比賀正敬，1997. 日吉産カミキリ覚え書. 慶應義塾大学日吉紀要（自然科学），(21): 55-60.
- 大場信義・土屋裕志・坂本繁夫・石渡裕之・榎戸良裕・鈴木裕，1981. 三浦半島のコガネムシ. 横須賀市博物館研究報告，(28): 27-56.
- 大木裕，1991. 横浜市緑区の平成のカミキリムシ. 甲虫ニュース，(95): 4.
- 志村和彦，1988. 三浦半島でのオオクワガタの採集記録. 横須賀市博物館報，(35): 6.
- 高桑正敏，1995. カミキリムシ類. 神奈川県レッドデータ生物調査報告書，pp.243-247. 神奈川県立生命の星・地球博物館.
- 露木繁雄，1955. 日吉産天牛科目録. ユーグレナ，(5): 39-44. 慶應義塾高等学校生物学研究会.
- 露木繁雄・新堀豊彦・窪田勝信・高桑正敏，1981. 神奈川県昆虫調査報告書，pp.419-454. 神奈川県教育委員会.
- 上田尚孝，1996. 平塚市土屋に生息するオオクワガタ. 神奈川自然誌資料，(17): 43-44.

（神奈川県立生命の星・地球博物館）